

野木町にある自主防災組織を紹介します！ Vol.2

新橋区自主防災協議会(平成21年4月結成)

問総務課 ㊦ (57) 4128

新橋区では区に所属する一機関と位置付けた自主防災協議会を設立し、①住民の自主的な防災活動により災害の防止および軽減を図り、②犯罪のない明るい地域社会の実現を図ることとして自主防災活動を推進しています。

これまでに新橋区が継続して進めてきた自主防災活動は、区の一般住民が参加して開催される「新橋区防災総合実習訓練」を中心に、自主防災協議会の運営委員が参加して実施する「防災館施設の調査・視察」、警察署員に講師をお願いしている「防犯講習会」等であり今後も確実に継続していくこととしていますが、近時は新型コロナウイルス感染拡大をはじめ、異常気象、犯罪の種類等と社会環境が大きく変化しており、これらに対処するための会合・活動を改善・確立していく必要があります。

新橋区としては、新型コロナ感染防止のために開催中止を余儀なくされた防災総合実習訓練をサポートする必要性から、新橋区役員、自治会長等による「新橋区防災リーダー研修」を立ち上げて、区と自治会とのネットワークをフルに活用した防災・災害対応を可能とすることとしています。また、今後の対策としては空き巣被害対策や、乾燥・強風時の大火災についても適切な防火対策を積極的に進める必要があります。

新橋区に居住して各分野に専門知識を持つ方々のご協力をいただきながら確実に効果的な防災活動へと区民一体となって推進していきます。



新橋区防災リーダー研修の様子

広報連絡委員レポート No.431



家族間のライフ・ライン

広報連絡委員 川元 由美子

新型コロナウイルス感染拡大第6波の最中、第3回目追加接種の案内が届いた。高齢者の私は早速申し込んだ。

そんな中、関西にいる高齢の母が体調を崩し入院した。コロナ禍以降、元気で過ごしているかを確かめるため週1回は必ず電話を入れていたが、そうすると電話が通じない。見舞いに行くこともできないため不安が募った。(行っても会えない)

そこで姉妹で協議した結果、お医者様から伝えられる病状や経過、看護師さんから聞いた様子等を姉妹間のLINEのグループにあげて、情報共有することに決めた。そして携帯電話で母と直に会話できた日にはその内容も姉妹のLINEで伝えることにしたため、状態が分かり安心できるようになった。

私はマメではないのでこれまで必要最小限の

ネット利用しかしてこなかったが、この便利なツールを離れて暮らす家族間で活用する必要性を感じた。

そして、それを始めたことによって一番身近にいて親の世話を細やかにしてくれている姉への深い感謝の念が湧いてきたのであった。

距離的な遠さとコロナ禍が重なって移動がままならない状況下、自身にできることは、高齢の母に孤独感を感じさせないよう取り留めない日常の事柄を電話する位しかないのである。第6波が収束した暁には帰省して見舞いたいと思う。それまでは早く良くなるよう祈りながらできることをして静かに待ちたい。

